

令和2年度 9月定例教育委員会会議における協議事項について

協議事項(1)「奈良市の目指す教育について

～次期奈良市教育振興基本計画(案)について～

◆ 協議概要

これまで協議した「奈良市の目指す教育」と8月に実施した総合教育会議内での意見を基に教育振興基本計画(案)を作成するとともに、教員アンケートの結果を示し、重点課題と基本方針の立て方について協議を行った。

◆ 発言概要

- 目標について、奈良を誇るというのは、奈良で学ぶ、奈良を学ぶことが新しい時代を生き抜くためにこそ必要であるということと繋がるのではないかと思うので、上段にくるのではないかと思う。
- 「教えから学び」としているが、教員アンケート結果からも基礎学力の定着にかなり課題意識を持っていると感じた。
- 重点課題の「個別最適化された学び」について、最新の中教審の議論の中でも最適化の学びと協働の学びを強調しているので、「教えから学び」の時に協働の要素が入っている方がよいと思う。
- 3つの重点課題の設定については良いと思うが、目指す子ども像の実現に向けて子どもたちがどう学ぶかが大事である。
- 現行の教育振興基本計画においては、重点的に取り組むべき役割を示した上で、基本方針につなげる構成であったが、重点課題として取り上げ基本方針につなげるのは全体の構成を見た時に唐突感が拭えない。
- ICTの学習も大事ではあるが、ハイブリットな学びの展開からも言語活動の充実が必要であると思う。これは探究学習や英語学習、Arts-STEMの土台にもなる。そのことが基本方針にも見えてきたら良いと思う。